

～町の歩みと共に～



# 「広報かさまつ」



# 1000号を発行

昭和28年1月1日、「笠松町報」創刊号を発行して以来57年。

現在は、「広報かさまつ」と名称を変え、今月号で1000号を迎えました。

そこで、このページでは創刊号から200号単位で発行した広報紙の表紙とその年の町の主な出来事をご紹介します。

町では、町の出来事や情報をお伝えするため、広報紙のほか防災行政無線放送や公式ホームページなどを活用しています。みなさんの意見を広く聞き、より効果的な広報活動を行うため広報モニターを設置しています。興味のある方は、企画課（☎388-1113）までご連絡ください。

## 第1号

昭和28年1月1日発行

- 仕様 タブロイド版
- 発行 不定期
- 編集人 山田 鋼

### 1月 「笠松町報」創刊号が、発行されました。

（町報抜粋）創刊に際して

「・・・「知らしめず依らしむべし」の大名政治のあり方でなく飽くまで充分知らしめて然して協力を求むべき所謂民主的であり、ガラス張りの透る町行政を行ふ事が必要であり其の一環として此の度「町報」を発行する事に致しましたのであります・・・」と、時の町長 梅田啓一氏は述べていました。

### 5月 県下消防操法競技大会「自動車の部」で第7位の栄光に輝きました。

全県下365消防団から選ばれた48団体に、羽島郡代表として選ばれた笠松町消防団は、「自動車の部」25団体中第7位の成績を収めました。当時の消防団員のあつい信念は、現代の消防団員へ脈々と受け継がれています。



## 第200号

昭和48年10月10日発行

- 仕様 B5版
- 発行 月3回（1・10・20日）
- 編集 広報安全課

### 1月 半世紀ぶりに「円城寺雨乞い踊り」が、復活しました。

ふるさとの伝統民芸がつつぎと失われていく中で「先輩たちの伝えた伝統を絶やすまい」と、地元円城寺で半世紀ぶりに雨乞い踊りが復活し氏神の神社に奉納されました。同年4月の笠松まつりでは、いつまでも長く子孫に受け継がれていくように…との願いを込め多くの観衆の前で、八幡神社に奉納されました。

平成元年に「円城寺の芭蕉踊」の名称で岐阜県重要無形民俗文化財の指定を受け、現在は円城寺芭蕉踊保存会が中心となり地域の手で受け継がれており、毎年8月22日の秋葉神社の祭礼に奉納されています。

### 5月 「広報かさまつ」が、広報三冠王を獲得しました。

岐阜県広報協会の広報コンクールで広報紙（特選）、一枚写真（入選）、組写真（入選）と三部にそれぞれ入賞しました。

